

# クールON™

近赤外線と遠赤外線の透過率をコントロールすることにより、

- ①夏期：ハウス内の温度上昇を抑制します。(作物の高温障害軽減効果)
- ②冬期：夜間の放射熱による温度低下を防ぎ、地温・気温を高く保ちます。

# 全国で展張試験を行った結果、優れた遮熱性と保温性が実証されました。

## ① 遮熱性

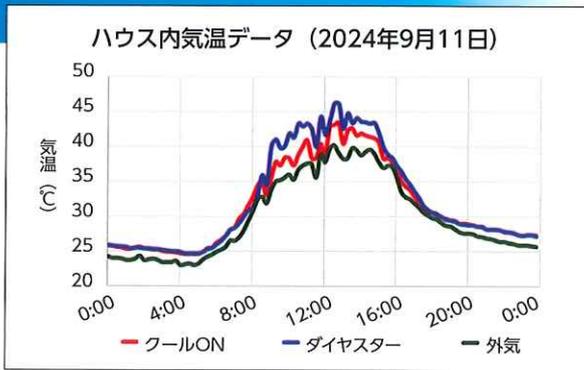
展張事例1：関東地区 期間：2024/8/29-9/24

試験区：クールON (150 $\mu$ m厚)

対象区：ダイヤスター 作物：トマト

※対象区 (ダイヤスター) 対比、夏季日中のハウス内気温が3~5 $^{\circ}$ C低い傾向。

(気温)	ハウス内気温		外気温
	クールON	ダイヤスター	
平均	29.1	29.5	27.7
最低	21.1	21.0	18.9
最高	43.4	46.6	40.2



当社 研究・開発部

## ② 保温性

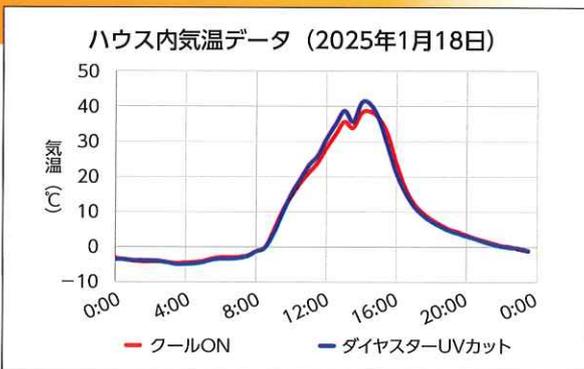
展張事例2：北海道地区 期間：2024/12/26-2025/4/2

試験区：クールON (150 $\mu$ m厚)

対象区：ダイヤスターUVカット 作物：カブ

※対象区 (ダイヤスターUVカット) 対比、冬季夜間のハウス内気温が同等。

(気温)	ハウス内気温		(地温)	ハウス内気温	
	クールON	ダイヤスターUVカット		クールON	ダイヤスターUVカット
平均	8.8	8.7	平均	10.0	9.9
最低	-4.6	-4.9	最低	5.8	5.2
最高	40.4	44.0			



当社 研究・開発部

## 製品規格

性質	厚さ(mm)	幅(cm)
防霧・塗布無滴・遮熱	0.15	※最寄りの販売店、代理店にご相談ください。
	0.1	

## お願い

■ハウスの換気効率を上げて下さい。■盛夏期の栽培には、外部遮光資材との併用を推奨します。

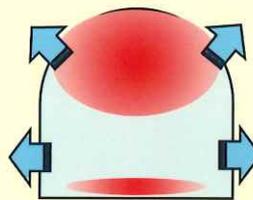
### クールONを上手にお使い頂くための注意事項



【注意①】



クールONは、フィルム自体が太陽熱を吸収しハウス内温度を抑制するので、フィルム自体の温度が高くなります。



ハウスの換気効率が高いほど遮熱効果が得られやすくなります。ハウス内資材が吸熱しにくいほど遮熱効果が高くなります。

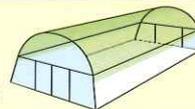
※内張、マルチの色：白>黒



【注意②】

クールONは通年使用を前提として冬期の保温効果も配慮した設計です。盛夏期の栽培にはメガクール等の外部遮光資材と組み合わせることで、より遮熱効果を高めることができます。

●外張りフィルムの上から被せる方法



【注意③】

本製品に関する注意

(1)ご使用に当たっては、当社または最寄りの取扱店に相談されることをおすすめします。(2)本製品は農業用資材です。他用途には使用しないでください。(3)資材の劣化を早めするため、ハウス内での硫黄燻蒸および硫黄系薬剤の散布は避けてください。ハウス近隣で硫黄系薬剤を使用した場合も、同様の劣化(いたみ)が発生するおそれがあります。(4)冬季および曇天が続いた場合は、透明フィルムと比較して作物の生育に差が出る場合があります。(5)夏季使用時は、ハウス内の換気を十分に行い、熱い空気がこもらないように管理ください。(6)本製品下は通常より水分が蒸発しにくいので、灌水などの水分管理にご注意ください。(7)樹脂コートされたパイプやハウス部材にフィルムが張り付くことがあります。その場合、張り付いた部分を濡らして少しずつ剥がしてください。

農POフィルムに関する注意

①表と裏があります。製品に印刷された文字が、ハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。②フィルム展張の際、タルミは禁物です。小ジワのよらめよう強めにピンと張り、奥行き両サイド方向にフィルムを固定してください。③農ビ用ハウスバンドを使用すると摩擦により破れることがあります。④農POと農ビを裏面等で密着させて(重ねて)使用する事は、おやめください。⑤高温時にフィルム同士が熱融着することがあります。展張前や保管時には、直射日光・水ぬれをさけてください。⑥防霧性能に関して、ハウス内の環境条件(湿度、温度)や、外気温の急変などにより、キリ・モヤが発生することがあります。⑦耐用年数については、使用する地域やハウスの構造、気象条件によって差異が生じる場合があります。

取扱店

MKVアドバンス株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-9-2 住友不動産神田和泉町ビル  
TEL 03-4334-4636



当社ホームページ

26.02-09-AK